

平成25年8月

第8回マナーキッズ大使アメリカ遠征感想文

アメリカでの体験が与えたもの

アメリカのキャンプ場は360度山に囲まれていて、どこまでも緑が広がっていました。ここで、僕は今までにしたことのないスポーツや体を使ったゲーム、湖での水泳、野外で眠るスリープアウトを経験しました。

中でも貴重な体験だったのはスリープアウトです。食材や寝袋を持ってハウスを出発します。僕の仕事は火起こしだったので、薪を探すところから始めました。薪探しの大変さ、火起こしの難しさを痛いほど知りました。でもグループのリーダーがいつも、どうしたらみんなが喜んでくれるか考えてくれたり、まとめたり誘導してくれたりしました。

僕たちメンバーも楽しむために協力をしました。時間は沢山かかりましたが、出来上がったカレーのおいしさ、この世のものとは思えない味でした。僕は小食とよく言われますが、大盛りカレーを一番早く食べ終わり、さらにお代わりもしました。

夜は屋根だけある小屋の下に寝袋を並べて寝ました。仲間と一緒にいる心強さ、暗やみの中でのおしゃべりがとても楽しかったです。

僕は英語は話せません。キャンプ前に、ホームステイをしました。その時は、ホストファミリーの女の子が英文を書いてくれましたが、文を書いてもらうと意味がわかるのですが、発音が全くわかりませんでした。英語をもっと勉強して話したい、コミュニケーションをもっととれたらもっと楽しめたのになと、悔しい思いをしたので、将来話せるようになるという目標ができました。

キャンプ生活も素晴らしい経験でしたが、最後ニューヨーク観光も素晴らしい経験でした。ヤンキースの試合観戦、自由の女神もみました。グラウンドゼロでは、お祈りをささげました。

僕は大使に選ばれたのは、自分の力だと思っていました。でも今回アメリカでいろいろ経験して見て選ばれたのでなく恵まれたのだと感じました。

だからそのおおきな恵に対して、何かを返していかなければいけないと思っています。

マナーキッズ大会を開いてくださった理事長始めボランティアの方々、礼儀作法を教えて下さった鈴木先生、そして大会が続くように応援して下さる沢山の方々、とても感謝しています。

アメリカ出発前に、文部科学大臣とお会いできた経験は、僕の一生の宝物になりました。キャンプ場で助け合った仲間たち、そして何よりもいっしょに行動した大使のメンバーたちに、ありがとうといいたいです。